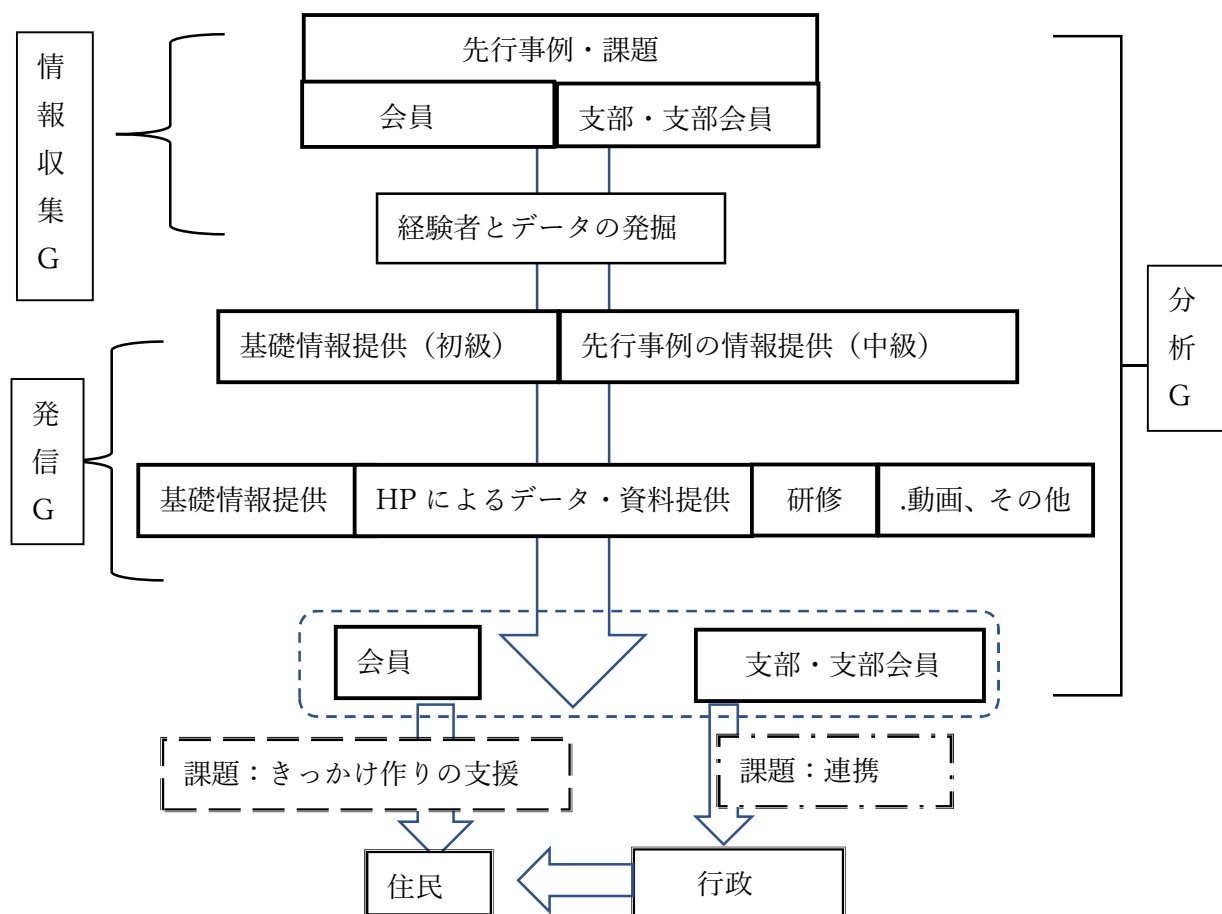


令和5年2月23日

## 地区防災計画推進委員会 報告

1. 委員（理事から委員を募集）：  
佐伯邦夫、吉水康夫、山本賢一郎、保田真理、大月真由美、  
成川一正、岩井慶次、藁谷俊史、別府茂
2. 委員会開催： 計11回（2021年10月25日～2023年2月23日）
3. 報告事項
  - (1) グループ編成と担当（○ファシリテーター役）
    - ① 情報収集グループ（○藁谷、佐伯、岩井の各委員）  
担当：アンケート調査計画の立案と実施
    - ② 発信グループ（○山本、吉水、成川の各委員）  
担当：ホームページ改訂の計画、研修の実施、ちくぼうチャンネルの開設
    - ③ 分析グループ（○保田、大月の各委員）  
担当：アンケート結果の分析、パンフレット・チラシの作成
  - (2) 地区防災計画推進のためのフレームと委員会の担当関連図



(2) 実施した企画

- ①パンフレット・チラシの作成（担当：保田、大月の各委員）
- ②ホームページ改訂の改訂計画の作成（山本委員）
- ③ちくぼうチャンネル（室崎理事長）の録画と発信（山本、保田、成川の各委員）
- ③支部対象アンケートの実施（令和4年9月～10月）と結果の分析、提案  
（情報収集グループ）
- ④研修の実施（令和4年度）

実施日	開催地・方法	担当委員	種別
10月30日	東京都支部（リモート）	別府	基礎
11月20日	新潟県支部	保田・大月 協力：成川	ワークショップ
11月26日	スキルアップ研修（リモート）	別府	基礎
12月3日	九州支部連絡協議会（沖縄）	別府 計画：吉水	基礎
12月6日	内閣府（リモート）	岩井	中級（先行事例）
12月17日	スキルアップ研修（リモート）	佐伯	中級（先行事例）
12月24日	スキルアップ研修（リモート）	岩井	中級（先行事例）

(3) 都道府県と支部の連携による地区防災計画の推進事例の調査

- ①福島県（藁谷委員）：福島県 地区防災計画の手引き
- ②富山県（佐伯委員）：富山県 地区防災計画作成の手引き・事例集
- ③岐阜県（岩井委員）：岐阜県と岐阜大学とも連携し推進中
- ④茨城県（稲葉理事）：栃木県支部 地区防災計画策定マニュアル
- ⑤長野県（山本委員）：日本防災士会と長野県支部とともに長野県泰阜村で  
ワークショップ計画中
- ⑥鹿児島県（吉水委員）：鹿児島県と支部との連携・協力体制をスタート

4. 提案

(1) 全体計画

対象	パンフレット チラシ	ホームページ ユーチューブ	研修	組織
支部	詳細は別紙を参照ください			
行政				
会員				
住民				

## 5. 課題

### (1) 今後のアンケート

- ① 現状の支部活動を把握するため制度化が望ましい。  
活動中：活動停滞：未活動 = 1/3：1/3：1/3
- ② 今後の定期測定、支援のために情報収集の継続調査が望ましい。
- ③ 支部のほか、会員の取り組み状況調査が望ましい。

### (2) ホームページ活用

- ① 情報を適時にアップできる体制（委員会、事務局などの担当範囲と責任分担）が不可欠となっている。
- ② 地区防災計画の講演PPTデータを紹介し、会員がダウンロードにより入手し地区防災計画推進の研修会などに使用できる仕組みとする。また、地区の被害想定、災害の歴史、街歩き報告などの情報を組み込むことを奨励する。  
要望によりDVD、USB等でデータを提供する。
- ③ 地区防災計画に関する掲載情報は、毎年内容を委員会が確認し、更新する。

### (3) ちくぼうチャンネル（YouTubeの活用）

- ① スキルアップ研修の講義データは、小テーマごとに分割し見やすくする。
- ② ホームページのPPTデータと組み合わせた利用を促す。

### (4) 組織の活用

- ① 連携
  - a. 地区防災計画の取り組みが活発な支部間の連携を促し、情報の共有を図る。
  - b. 都道府県と支部との連携事例を集め、活動が十分でない支部及び都道府県に提供する
- ② 活動推進
  - a. 支部における新制度の提案（地区防災計画普及連絡員育成プログラム）
    - ・体制：
      - ア 各支部において、地区防災計画普及連絡員を選任する。  
(地区防災計画普及連絡員は、支部長、副支部長とは別途選任されることが望ましい)
      - イ 地区防災計画普及連絡員（リエゾン）として、本部と支部の交流を図り、地区防災計画推進に取り組む。
      - ウ 地区防災計画普及連絡員は該当支部および支部連絡協議会において地区防災計画推進に取り組む。

・養成・スキルアップ：

- ア 日本防災士会本部および地区防災計画委員会でワークショップ等を通じて対象者にスキルアップを行う。
- イ 日本防災士会本部および地区防災計画委員会は、地区防災計画普及連絡員（リエゾン）と積極的に交流をはかり、各地域の状況に合わせた支援を行う。
- ウ 普及連絡員の地域間交流の推進を図る。
- エ 推進事例を積極的に共有、紹介する。
- オ 日本防災士会のホームページ等で紹介する。
- カ 優秀事例は組織外への発表の支援を行う。（イベント等における発表や学会発表）
- キ 支部対象のリモート研修会を開催する。
- ク 継続した提案を行う。（ホームページ活用、Y o u T u b e 視聴、支部勉強会等）

（５）委員会体制

地区防災計画推進委員会は継続が望ましい。

（６）その他

- ① Q & A の制度化を進める。  
（質問者→事務局→委員長→回答適任委員等→事務局→回答）
- ② 経費支出を伴う計画は、内容と経費を計画書に記載し事前に承認を得る。

以上

対象		方法	パンフレット・チラシ	地区防災計画 ホームページ	委員会主催 研修会、セミナー	ちくぼうチャンネル ユーチューブ	組織化
支部	活動中		要望により 継続配付	先行支部の事例紹介	スキルアップ研修(中級) セミナー講師拡大	⇒ 研修データの活用	先行支部の 連携強化
	停滞・ 不活発		要望により 継続配付	1. スタートアップ (基礎編 PPT データ) 2. 停滞対策 (Q&A、ちくぼう相談 室、映像等の活用)	スキルアップ研修 (基礎 1, 2)  普及連絡員育成プログラム 支部対象のスキルアップ	⇒ 研修データの活用	支部の 普及連絡員体制
行政 (都道府県+ 市町村)			支部より持参	行政・支部連携成功 事例の紹介(資料) (福島、富山、岐阜、栃 木県支部など)			モデル事業の 検討
会員			1回/年会報同封	聴講の案内 最新情報の提供	スキルアップ研修 (基礎 1. 2)	⇒ 研修データの活用	
住民				聴講の案内 最新情報の提供			
その他			・パンフレットのホームページ掲載とダウンロード可能に積極的案内を会報で行う :印刷物は支部からもらうよう案内		ユーチューブアップ PPT データ 提供 DVD 提供も(応要望)	⇒ 研修データの活用	